



Japanese Society for Living Systems Design Research

令和2年3月1日

各位

デザイン生命工学研究会
会長 田川 陽



賛助会員・ご寄付募集の趣意書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、デザイン生命工学研究会の活動に対しまして格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、デザイン生命工学研究会は、複数種の細胞や細胞外マトリクスの秩序だった組織からなる哺乳類や高等植物、さらに、それらに共生する微生物や寄生するウイルスのコミュニケーションを総合的に理解した生命体シミュレーションとその *in vitro* システムを構築・応用する学問・技術の創設を目的に、平成28年3月8日に設立されました。

本研究会は今年度で第5回大会が開催される予定です。これまでの大会において、活発に討論をおこない盛会裏に終えております。本研究会の学術分野は、いわゆる従来の合成生物学がカバーしていない、異なる細胞間のコミュニケーションをデザインする研究、つまり、動物や植物の個体の異なる組織や器官を構成する細胞間、ミトコンドリア、葉緑体などの細胞内器官と細胞間、これらに共生・寄生する微生物やウイルスなどのコミュニケーションなどを題材に、実際の生物個体を用いたものばかりでなく、計算機や、*in vitro* システムによるシミュレーションも対象とし、さらに、これらの研究と社会とのコミュニケーションに関する研究、例えば、産業応用、知財、バイオセーフティ、バイオセキュリティ、生命倫理、といった研究も含まれ、非常に広範囲な領域にわたっており、それぞれの分野の専門家がお互いに交流を深めることで、我が国におけるこの分野のさらなる発展に努めております。

学会活動の更なる発展と進歩を図る目的で、この度さらなる賛助会員・ご寄付の募集をさせて頂くことと致しました。本研究会といたしましても一層の学術的発展を遂げ、社会に貢献する研究会を目指して努力していく所存でありますので、なにかとご多端の折り、誠に恐縮に存じますが、本趣旨にご賛同を頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます次第です。

敬白